

新型コロナウイルス感染症クラスター（5事例目）について （第6報）

三重県内で発生した5事例目のクラスターについて、9月13日時点の調査状況を報告します。

1 県内5事例目のクラスターの概要

令和2年8月、鈴鹿市内の特別養護老人ホーム 伊勢マリンホームで発生したクラスターで、三重県内では5事例目となります。

施設職員および入所者から陽性者が複数判明していることから、施設内で感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

この施設に勤務する職員（県内延べ368例目）の陽性が8月29日に確認されたことから、施設内で調査を進めるとともに、一度陰性が確認された方でも発熱等の症状があれば検査を行うこととし幅広く調査を行っています。

なお、9月12日にすでに陰性が確認されている方に再度検査を実施したところ、新たに施設入所者3名（458～460例目）の陽性が確認されました。

この結果、本クラスターでは、職員については1名（368例目）、施設入所者については、19名（370～380、389、390、400、427、428、458～460例目）の陽性が確認されており、陽性者は20名、陰性者は147名となりました。

現在の施設に係る感染者の状況は下表のとおりです。

カテゴリー	検査対象者	検査済数	検査結果	
			陽性数	陰性数
施設職員等	77	77	1	76
入所者	90	90	19	71
合計	167	167	20	147

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

3 今後について

接触者については、引き続き保健所が健康観察を行います。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。